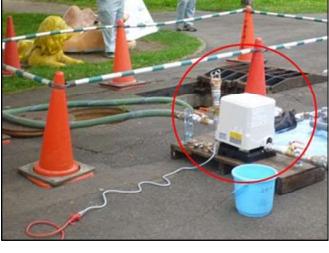
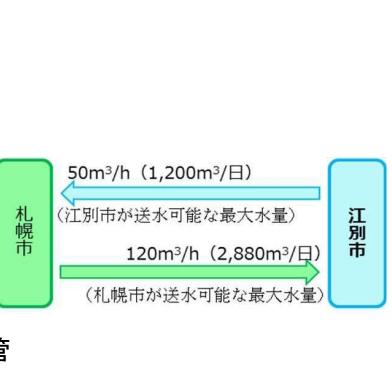


断水災害に関する対応策について

項目	今年度までの対応状況 (● : 対応済み、○ : 継続)	備 考
1 組織体制等	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本水道協会北海道地方支部道央地区協議会と災害時相互応援に関する協定締結【H10】 ● 札幌市水道局と連携協力に関する基本協定締結【H26】 ● 断水対応マニュアルの全面的改良（全庁配備体制）【H27】 	
2 広報	<ul style="list-style-type: none"> ● 自治会連絡網を活用した複数情報媒体（ファックス、電話、電子メール）による一斉配信手法の導入【H27】 ● ホームページのアクセス集中に備え、負荷の少ない災害時モードへの切替運用【H26】 ● メール配信サービス、SNSなどによる多様な情報伝達手段の導入【H27】 ● 広報車巡回方法のマニュアル化【H27】 	
3 応急給水活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 給水所の運営方法のマニュアル化【H27】 ● 応急給水場所を選定しマニュアルに明記【H27】 ● 応急給水車補水場所を選定しマニュアルに明記【H27】 ● 災害時協力井戸制度導入【H28】 ○ 専用水道事業者との災害時連携協定締結【H29、H30】（谷藤病院、イオン北海道） 	ほかの専用水道事業者と協定締結に向け協議を継続中
4 資機材、設備、物資	<ul style="list-style-type: none"> ● 緊急貯水槽：6か所【H8～H29】 (飛鳥山公園、若草公園、大麻東公園、とちのき公園、江別太小学校、対雁小学校) ● 災害時給水栓：2か所【H29、H30】（大麻西地区センター、上江別小学校） ● 給水タンク車：2台【H24、H27】（1.8t 加圧式、3.0t 加圧式） ● 消火栓用仮設給水栓：15組【H8～H27】 ● 給水タンク：24基【S43～R1】 ※ 混雑緩和のため、給水所の配置数を2基から3基に変更 ○ 給水袋：13,300枚（目標：33,000枚）【H9～】 ※ 給水袋耐用年数10年 ○ 緊急貯水槽用電動ポンプ：9台（目標：14台）【H27～】 ※ 緊急貯水槽1か所あたり1台から2台に変更（但し対雁小学校は4台） ○ 給水所用のテント：7張（目標：14張）【H28～】 	<p>自治会、管工事業協同組合と訓練を毎年実施 (管工事業協同組合と冬期も実施)</p> <p>【H30震災関連】</p> <p>毎年2,500枚購入予定</p> <p>【H30震災関連】毎年1台購入予定</p> <p>毎年2張追加予定</p>
5 水道施設の改善	<ul style="list-style-type: none"> ● 河川上流の監視強化 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 漁川ダム放流の事前通知や千歳川上流に位置する浄水場との連絡体制を強化【H26】 ◆ 千歳川上流（大雨が予想されるとき）の採水調査を行う体制の構築【H26】 ◆ 濁度計を設置【H26、H27】（取水ポンプ場、千歳川上流） ● 原水を溜める施設の整備【H27】 ● 江別市・札幌市緊急時連絡管整備【H29】 ※ 札幌市厚別区と大麻地区の一部で水道水を相互融通 	札幌市水道局と共同訓練を毎年実施（継続）
6 停電対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 上江別浄水場の2回線受電方式導入【H15】 ● 浄水場発電機リースマニュアルの作成【H30】 ● 仮設発電機用接続ケーブル購入【H30】 ● 事務用小型発電機購入【R1】（水道庁舎、上江別浄水場、江別浄化センター） ○ 委託による停電対策基礎調査を実施中【R1】 	<p>【H30震災関連】</p> <p>【H30震災関連】</p> <p>【H30震災関連】通信、電子機器、照明等</p> <p>【H30震災関連】対応方針をR2年度中に検討予定</p>

【参考】主な施設、資機材等

		
<p>●緊急貯水槽</p>		
		
<p>●災害時給水栓</p>	<p>●給水タンク車</p>	<p>●消火栓用仮設給水栓</p>
		
<p>●給水タンク</p>	<p>●給水袋</p>	<p>●緊急貯水槽用電動ポンプ</p>
	 <p>●江別市・札幌市緊急時連絡管</p>	 <p>札幌市 50m³/h (1,200m³/日) (江別市が送水可能な最大水量)</p> <p>江別市 120m³/h (2,880m³/日) (札幌市が送水可能な最大水量)</p>